

新潟県公民館月報

発行人
新潟県公民館連絡協議会
新潟市寄居町
越佐自治会館内(電 2-7954番)
振替口座 新潟 4094
四月号 (51号)

本会機構改革案成る

評議員会は四月三十日

昭和三十一年度初の幹事会は、四月五日新潟県立図書館において開催された。審議された主な事項は次のとおりであった。
一、丸山会長の全公連副会長兼評議員職と今後の態度
二、丸山会長の全公連副会長兼評議員職と今後の態度
三、丸山会長の全公連副会長兼評議員職と今後の態度

丸山氏は三月二十五日東京都豊島区振興会館における全公連理事會に出席された時の様子を説明。新任については、昨年八月評表を提出していたのだが、今回より、二、全国公民館大会にて表彰され、受領確定、審野会長以下三副会長の総返却し、新役員は四月十三日に開かれる評議員会で選出されることとした。

新会長には塩原主次郎氏(埼玉) 全公連評議員会は四月十三日東京市豊島区立美術館において開かれた。出席者は二十六府県の半数を越した。塩原主次郎氏は、次のようにその議事を報告している。



評議員会開催の様子

新会長には塩原主次郎氏(埼玉)

全公連評議員会終る

全公連評議員会は四月十三日東京市豊島区立美術館において開かれた。出席者は二十六府県の半数を越した。塩原主次郎氏は、次のようにその議事を報告している。

一、昭和三十一年度事業報告と決算報告を承認。然しながら負担金未納が三十分が十二万四千円、三十一年度が二十六万二千五百円と七十五万円の約に達していることに対し、本県理事から強い不満を主張し、未納金の反省を求め、新役員理事に任ずることとした。

二、月刊公民館発行に伴う収支及び経費削減の件については、発行を継続するや否やを論議し、結局は休刊することとした。
三、本会々則の検討
四、新役員選任の件
五、三月十日、長岡駅前長岡公民館にて開催し、前記、規則の改正、役員選任、決算案、予算案の審議を行った。四月五日、新潟市寄居町越佐自治会館において開かれた。出席者は二十六府県の半数を越した。塩原主次郎氏は、次のようにその議事を報告している。

展望
春になると、猫は鼠をとることを忘れ、人は借金を忘れる。ところが、金を忘れたらどうなるか。今はあの世の漱石に聞き得たとしても「猫の恋を知らねえのか」と、あつりかたにつけられるのがオチではないか。人間の方はどうして。生理の先生にたずねたらどうか。生理の先生は「年中借金まわりの者などは、先天的にホウ泥として、人にいやがられる神祕なまわされるに違いない。三月に行なわれた職員講習会の中で、藤原公民館に立寄った時、権の末端に安坐するなかれ」という石川さん自作の銘の一つが小さい紙片に書きこまれてあるのを発見しましたが、自分に都合の悪いことを忘れがちの者として、まことに恐ろしい警悟でした。権力の座に安坐しているだけなら、外面にはお行儀もまた良いように見えますが、男であれば女もあれ、あつりかたでいられる教育職人は驚くべきです。そんな人に限って、指導的助言と高い所に上りましかたです。ある研究会で、ある助言者が、折角皆から出された話し合いの話題を一人での上げ、一人で結論づけているのを見合ったことがありますが、私達がいままでバカでいると思っているのではないでしようか。春はホウ泥の季節です。括弧も括弧でも、虚しい善悪は降らせません。心のホウ泥は手離せませぬ。

岐路に立つ日本PTA

役員総辞職、解散の声も出る

千六百万PTA会員の全国組織であるこの協議会が、財政の乏しさを存続の障を遂げてい
る現状をどう打開するか注目されているところであるが、とくに問題をはらんでいる矛盾の点
などについて、日本教育新聞から取り上げてみます。

三十一年度 会費未納が77万円

発足当初から問題はらむ

日本PTA協議会の会費問題は 昭和三十一年度分には約二百三十
最近になって起きたものではなく
協議会発足当初からのことであつ
た。発足当時は生徒一人当
り(小・中学生)十銭といふこと
から始まり、昭和二十九年八月に
あまりにも少なすぎるとして二十
銭に値上げした。発足当時をよめ
かえてみると、昭和二十七年、
東京、教育会館で結成総会を開い
た当初、もちろん「少な過ぎる」
といふ声がないでもなかつたが、
当時「とにかく全国組織を作る」
といふ方針で、十銭でも仕方な
かつた。

しかし、これでは大変少なすぎ
るところで、昭和三十年度か
ら小・中学校生徒一人当り二十
銭を算定の基準として「文部省
統計に基づいた各県小・中学校生
徒数の七〇%に二十銭をかけたも
の」を「地方PTA協議会の本部
への分損金とする」ことに改めら
れた。それが今日まで続いたが、

昭和三十一年度分には約二百三十
万円が本部に集まると、三月十
二日現在で約百五十四万円といふ
状態で、未納金が七十七万円もあ
る。そのうえ過年度未納金が各県
の合計三十四万円となつていて
こうした状態では、地方協議会
が要求する国家的措置を要する問
題の要請運動は、とうていできるわ
けがない。ここでいかに地方協
議会が全国組織の必要性を認識し
本部への協力をしなげれば、PTA
の全国組織は順調の道を辿る
一方であろう。従つて本部では
ここで何と打開案を講じてみるこ
とで考え出したのが会費の値上げ
である。本部「つまりこの協議会
の経理委員会が考えている値上げ
額は十銭でこれまでの二十銭に加
え、合計三十銭としている。

ないといふ立場でなく、全国の
お父さん、お母さん、先生たちと
の意識的つながりがどうしても必
要であり、欠くことのできないも
のなのだ。十銭と二十銭と言つ
ていふから指標父兄から会費をと
れないのであつて、単位PTAの
予算項目の中に、日本PTA会
費として「二円なり五円なりの独
立項目を掲げることによって予算
も増え、父兄一人一人が一円なり
五円なりを出すことになり、私た
ちの要求を反映する機関が中央に
ある」といふ意識ができるわけだ。
もちろん、これと同時に、単位PTA
の会員であると同時に日本PTA
の会員となる」といふ事項
を盛り入れ、そこで完全に未納の
PTAと中央のPTAとの密接な
意識的つながりができ、下からの
要求が中央に、そして政府へと
押し進めることができる。現任の日
本PTAはとくに内部への感傷
とサードに努力しなければなら
ない。現任のよき、地方から要求
項目をあれもこれもと形式的義務
的に並べるだけでは決して地方も
ついてこない。地方PTAの動き
を統計として全国にアピールす
るとか、PTAの年間計画のモテ
ルを作るとか、地方の要請を重点
的にしぼり、要請のみを政府機関
に要求するとか、現在学校経営費
のうち六割(これは当然公費でま
かなわねばべきもの)をPTAが
展開しようと願っている」と語つ
ている。

今までの成果を見

これに対して、二十三年以来PTAの仕事を続け、現在日本PTA協議会会長の増田長男氏(名古屋)は「全国のPTAは現任団が負担すべき公費を七十億あまり負担している。世の父母たちは子供に幸福を願うあまり金、金、金でヘトヘトに疲れている。この悲しむべき惨酷な現状を一誰が救おうというのだろうか。日本PTA協議会を除いて誰が運動するの。私は日本PTAの仕事はここにあると信じ、会費もこれに全力をつくしている」と語っている。

新解公民館用語 (その一)

○公民館ゼミナール
公民館職員がゼミナールに
シツ、ミンミンしゃべり
あり、話し合うようにナ
ルのである。そして時に近
くの公民館を立ちこちと飛ま
わつて稽察する。これらの
言動があまり猛烈だから演習
などを誤す人もあるくらい
だ。今年には県の社会教育課で
は五月を皮切りに年間五回く
らい、県下各地で開催の予定
だそうだが、猛烈な話し合い
といっても、仕事の上の話し
とくろべや、自己宣伝のラッ
パの吹き合ひでないことはも
ちろんである。

○講義
公民館の成人講座や婦人講
座などで講義が最も多いとい
ふ。いつもこの形式を言ふむ
きも多いが、この形式にのみ
頼つていては、もの足りない
と、対象に満足感を与えるこ
とはむづかしい。一番重要な
のは本義である。かのワマン
アベル氏もいっている。前
は資料というならせ雄心して
ぼつたらしめるものでなけれ
ば、資料とはいかない。そ
こで世上一般の風俗資料をみ
るに、陳腐なものや、ほこり
だらけになった何年も前のも
のなどが、お義理にならな
れていてのが普通だ。また、
逸品といわれるものは、公民
館職員の脳中(つまりそのう
ちではない)深く蔵されて、展
示活動ができない。いきおい商
下石上や、逆さクラゲといふ
念である(○)

○巡回文庫
その名の通り図書館をまわ
せよといふばかり、まわすこ
とのみ主力をそぞろではい
ないが、まわらなりの出した
り、入れ替りするだけが、主
眼ではないはずだ。ここ一番
と対象に与えようものがなけれ
ばいけない。何を与えたか
与えたものが不発に終わらな
い育っているか。後日よく論
べてみなければならぬ。何
も与えてないし、育つてい
ないかつたら、更に又調査を
出して何回も何回もつ返さ
なければならぬ。

○展示資料
アメリカでは女の人生、「
あつ」とよめ返させるもの
でなければ「ニュース」では
ないといわれている。展示
資料においては婦人をして
ワマンというならせ雄心して
ぼつたらしめるものでなけれ
ば、資料とはいかない。そ
こで世上一般の風俗資料をみ
るに、陳腐なものや、ほこり
だらけになった何年も前のも
のなどが、お義理にならな
れていてのが普通だ。また、
逸品といわれるものは、公民
館職員の脳中(つまりそのう
ちではない)深く蔵されて、展
示活動ができない。いきおい商
下石上や、逆さクラゲといふ
念である(○)

どんと良ちゃん公



生活改善、結婚改善、世は争ひてオールの改善の時代になりつつある。さし、そで……

公ちゃん結婚などと経つて、得意になつてゐる所もあると云へく。

衣裳は公民館で揃えた、費用は三〇〇円だ、歯がうつくやうな髪型に整まつてる。いらぬお世話だといひたくなる。なせ、結婚式には誰が着たかわからないような着物を借りてまで着なければならぬ。この場合は、親は、一生に一度たからたつたつた。一生に一度たからたつたつた。一生に一度たからたつたつた。一生に一度たからたつたつた。

なにも、人の結婚式までも改善という美名をかりておきまつける必要はない。もちろん、公ちゃん結婚のときも、身不相成り、身代をかたむけつてしまふ金もつかぬ。かたむけつてしまふ金もつかぬ。かたむけつてしまふ金もつかぬ。かたむけつてしまふ金もつかぬ。

また、最近指導者も指導者はないか。集会があると、意味もなく映画を映す。その他の視聴覚教材をつかうと、すぐれた方法だと考へてゐる者がある。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。

で、映画や放送にたまる必要はない。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。

高橋 英夫 祝職見
田代 昭夫 祝職見
田代 昭夫 祝職見
田代 昭夫 祝職見

高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見

高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見

改善の改善

高橋 英夫

つしあつたものの方が、どれだけ驚くべき記念になるかわからない。この旅行も、最近では温泉行きが多いが、これも下のらないことだ。私なら古田川原を訪ねて、更に感慨をあらたにするだろう。なげならば、この感情は、日本人にのみしか味わうことのできない。すぐれたものであるからである。本場の意味の改善といふのは、他人事にはらぬ出入りをしたり、無暗に統制をとったり、必要以上に金を節約することではない。

また、最近指導者も指導者はないか。集会があると、意味もなく映画を映す。その他の視聴覚教材をつかうと、すぐれた方法だと考へてゐる者がある。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。

で、映画や放送にたまる必要はない。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。このついでを、更に改善することを考へてゐる者がある。

高橋 英夫 祝職見
田代 昭夫 祝職見
田代 昭夫 祝職見
田代 昭夫 祝職見

高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見

高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見
高井隆之助 祝職見

文部省企画幻灯画 「公民館の活動」

文部省が青少年教育活動の健全から、公民館運営指導者が健全育成を図るため作成したこの問題を考へる場合の素材、幻灯画の一部が、県教育委員会 あるいは、住民に、公民館は皆宛送付されてきております。のものであるといふことを啓蒙その中に「公民館の活動」(白黒) するために利用することができ、二十八コマ、白黒写真通信五コマです。

このスライドは、関東平野のプラリに備えておきます。ほぼ中心に近いA、B兩村の公から、往いており次第お貸しませ。民館活動を対比させながら、公すが、特に必要でしたら、東京民館活動の盛衰とその地域社会 都中央区日本橋通二丁目、日民館の要求、修繕に結びつかねばならぬ。点を指摘し出ておられる。

県社会教育課
人事移動紹介

高橋 英夫 祝職見
田代 昭夫 祝職見
田代 昭夫 祝職見
田代 昭夫 祝職見



◎ 教材映画
新着紹介
☆「村の気象」二三分、農業青年並一般成人(この映画は農作上に於る気象上の諸問題点を分金般向) (県下農民総決起大会) (白黒) なる村で研究と実地の精進によりて。白黒) (お菓子) (お菓子) (お菓子) (お菓子)

☆「農村住宅改善」二三分、高橋 英夫 祝職見 (この映画は農村住宅改善に関する問題点を分金般向) (県下農民総決起大会) (白黒) なる村で研究と実地の精進によりて。白黒) (お菓子) (お菓子) (お菓子) (お菓子)

全国に婦人学級一万六千

嫁さんも次第に出席

会場の多くは公民館

婦人学級の数は全国で一万六千十五学級(昭和三十年度)で、その中で学級に出席する婦人は百七十二万九千三百四十二名という大変な数字である。婦人学級で学ぶ問題は日常の身近な問題を延長して「きつた」問題を解決してゆくというものである。戦後間もない時期に、婦人の地位の向上をめざして多くの婦人の集合が誕生したが、いずれも理論に走りすぎて「空づき」したものばかりであった。しかし、全国の婦人学級の内容調査をとりだしてみると、

「学習内容が実生活にむきむきしている」と、生活に役立つこと。講義を聞いただけではなく、調査や計算や表を作成して具体的に学習が行われていること。相互学習の形態、全員が役割をもっているという形態で学習の案をあげていること。

子供の教育や生活の合理化などを学習の中心テーマにしていること。

地域社会に役立っていること。組織的継続的な学習で、じつじつ一つの問題を勉強していること」などである。

職業知識や技能の習得が四五%、文部省では「婦人学級を高く評価して、これまでにいろいろな

さきに披露させるため、三十一年度(昭和三十年度)二百三十学級を委託して学級の運営方法や学習方法の研究を行っているが、この二百三十学級の学習内容から婦人学級一般の具体的な学習課題を見てみると、まず家庭生活に関するものと、ついでに、社会生活に関するものと、ついでに、家庭生活が六七%を断然多い。この中でも専らを豊かにするための生活の合理化や職業知識、技能の修得が四五%、家庭における人の間柄や子供のしつけなどが三〇%くらいである。

社会生活に関するものでは、職業文化、教育に関するものや、婦人の地位向上など、いわば良き市民となるための学習が三割近くで、新生活運動などもかなり行われている。このような学習を行う婦人学級は、公民館で開かれるものも、もちろん多く、その他小学校や中学校など、いろいろな集会所がつかわれている。そして年間平均七十八時間の学習が行われているが、最高は四百五十六時間というものもある。一学級あたりの参加人員は最高七千人というものから最低三十人というものもあるが、三十人から百人位までが多い。最も高の七千人をかかえている学級と

生活詩

こうちせいり
T Y

耕り整理で頭の中はいっぱいだ
畑でも掘っても石が出る
大声で泣きたいよした
しかし

誰に向って叫ぶのだ
慣れた自分のことまで精いっぱい
誰も相手にしやしない
かじかんで感覚の無くなった手
をふき乍ら
結局は自分のためなんだと思っ
て
広くて立派な田で
元気に働く将来に
明るい希望をもって
また「ふるはて」を振りあげ
る
〔広神村公民館〕村へへ「おの

壁にははまれて家庭を出てくつた若い嫁や農家、商家などの多忙な大衆層が次第に乏しくつた。経済の不足が最大の悩み。そこで文部省では婦人学級のための教材映画や録音教材を二年前から製作配布することになり、いま婦人学級教育課程編成資料を作成している。また婦人学級の指導者養成するための研究集会なども行っているが、婦人学級の悩みはまだまだある。最も多く利用される公民館というものが明確でないため、民館の施設が其地の学道に適して不備が婦人学級の最大の悩みとなっている。そのために依頼し、(日本教育新聞より)

御寄贈ありがとうございます

県公連事務局

- 三月二十一日から四月十日までお送りいただいた広報紙は、次のとおりでした。
- 市田(鹿生町公民館)
 - みすさわ(水沢村公民館)
 - 西蔵村(西蔵村公民館)
 - 公民館(と)
 - 文化(丸まのり)(丸松公民館)
 - 北条(北条村公民館)
 - 村づくり(広神村公民館)
 - 黒川村公民館
 - 新築田市公民館
 - 豊栄(豊栄町公民館)
 - 大和(大和村公民館)
 - 町のあゆみ(金田町公民館)
 - 津川町公民館
- ないという。経済の不足も婦人学級の最大の悩みの一つだ。たとえは、この成人学級は平均二十万円、青年学級が六万三千元というのに対して、婦人学級は三万円程度となっている。
- こうした婦人学級は青年学級と違って、国の補助は出ていない。しかし、県や市町村の社会教育費を補助を得ているものが多い。こうしてから婦人学級の性格、内容も、最も多く利用される公民館というものが明確でないため、民館の施設が其地の学道に適して不備が婦人学級の最大の悩みとなっている。そのために依頼し、(日本教育新聞より)



タバコあれこれ

石川 欣一

タバコを愛する人の書いた随筆集。

こうなるとタバコもやめられない。それ種タバコに関しては興味ある事柄が盛り込まれている。

タバコには、付きもののパイプの話し面白い。

筆者は毎日新聞社友、日本パ이프クラブ会員である。

昭和三二・三刊 B6
二二六P 二五〇円
タワイド社

新・十八史略物語

企画は全く両書共同のものであるが、現代的な感覚で訳されたものは、原文を眺むとは、又違った趣きがあり、結構楽しい好読物である。

一〇〇P

新・若波新書

松好貞 夫著

「秀吉といえは、人はたまたに不世出の英雄として、あるいは一代の栄耀者として解値する。それに異存はないが、たまたまばかの絢爛たる桃山文化要素、いたのもやはり秀吉だったといふことになる」と、本書の見解は否定的で、それらのものを兼い雄の巻全巻、B8 各巻二七〇円

新・三国志物語は村上知行の著せぬいその時代の百姓、なかに全巻、で次の内容である。

1 虎虎・出世の巻 2 三草原の巻 3 赤壁・火敵の巻 4 孔明・出底力だったとする見方に立つ。

脚の巻 5 五丈原出陣の巻

そのような素晴らしい底力が、みすばらしい封鎖版版のどこか 河川書房の発行である。

B6 各巻一七〇円 両書共

新・十八史略物語

企画は全く両書共同のものであるが、現代的な感覚で訳されたものは、原文を眺むとは、又違った趣きがあり、結構楽しい好読物である。

一〇〇P

新・若波新書

松好貞 夫著

「秀吉といえは、人はたまたに不世出の英雄として、あるいは一代の栄耀者として解値する。それに異存はないが、たまたまばかの絢爛たる桃山文化要素、いたのもやはり秀吉だったといふことになる」と、本書の見解は否定的で、それらのものを兼い雄の巻全巻、B8 各巻二七〇円

新・三国志物語は村上知行の著せぬいその時代の百姓、なかに全巻、で次の内容である。

1 虎虎・出世の巻 2 三草原の巻 3 赤壁・火敵の巻 4 孔明・出底力だったとする見方に立つ。

脚の巻 5 五丈原出陣の巻

そのような素晴らしい底力が、みすばらしい封鎖版版のどこか 河川書房の発行である。

B6 各巻一七〇円 両書共

アラ探しは、免だ

見附三林 谷江 英夫

この月報、二月号の分次町公民館報から転載した「新生活運動はアラ探しから」に対して、次のような批判が見附市公民館の方に寄せられた。

「新生活運動はアラ探しから」は全体主義の機關紙かとの批判に陥った。

個人の生活と新生活運動とが主客顛倒しているからである。なるほど、運動であるからには、個人の自由がある程度そぼくされるのはやむを得まいが、アラ探しが個人生活に不当に介入して来る不快さは、我儘のできるものか否か疑問であらう。そこで、下林青年学校では、十一組三群に別れて討論を試みた。

A群は、個人のアラがもたらから、それを矯正しない限り、社会は住み良くなる。そのためにアラ探しは便利な方法だ。アラ探しが弊害であることも判り矯正されること、大勢は賛成。

B群は、社会を良くするためと云つても、現在以上にアラ探しをバツコしてはやり切れぬ。個人主義の長所が身につかぬ間に、アラ探しは更に益かたになつてはまずまず世間の眼に泣かぬはならぬし、第一自分のアラを他で問題にされるな、たまらないとし、月報に掲載に反対。

この悪罵まで出て、大勢は不賛成。本人が意識するところにかかわらず、全体主義的傾向の強い個人主義に立脚する人では意見が衝突する、抽象論をする人と具体例で論ずる人とは意見が異なるのもやむを得なかつた。ただ個人のアラ探しは不道徳とする点では一致している。日本が自由世界の一員だからと言ふ以前に日常生活でアラ探しの習慣に因りて居る経験から得た智慧のよきである。二言目は「人が笑ふ」と激励されて肯った。したがって勉え

投稿

全公連大会を前にあえて言う

柏崎市中央公民館主事 丸田 昭三

町村合併の進捗に伴い、新市町村建設が叫ばれている折、公民館の果たす役割は重大なるものがある。この時最も重要視されるのは公民館関係職員の問題である。このよき生きる力をもたせよ。『幸福な生活を望みたい』のい「人間共通の願望であれば、これに正しい力をつけるための能力的な活動が要請されてくる。社会教育はその使命を担っているとき、現在の自治体の財政がらうるし、わよせば、社会教育関係面が多いことは誰もが知っている、現実

を身につけた。のみならず人の長所を認めるクセはつかず、逆に短所だけを採り特長が件事にすらなつた。この不幸なすけのためには、日常の生活に不愉快な不自由な思いを込めていることだ。これ程過激なわれわれに、アラ探しに備える力があるだろうか。私はむしろ、アラ探しと私生活とのそぎ見ることが自由主義國では基本的人権の侵害だと議論することの方が重視されて良いと考へる。問題はこれを軽視するところから、奇矯なアラ探し提案が試みられたのではあるまいか。(見附市公民館より)

があると思つた。例年全公連大会に示す新潟県勢の力がおそれられまいと思つた。公民館職員の旅費は全公連大会に出席するだけのものではないが、僕らの三人の専任職員の間開旅費を出しても足らぬ現状である。九州まで五日も六日も日暮も空けて出張する余裕もなないことは周知の通りと思つた。五月とは、年度早々で予算の不足しない中にとの親心だつたが、予算は四半期毎に命運によつて使われていると思つた。この計画には、いくら職員が情熱をかたむけようと、到底出席は出来ぬものであつて貧乏人は妻を食へる、計画といわざるを得ない。現任公民館のこれまでの、ため

の行つて居る社会教育の場に乗る人々が住民の特定層や、全体から見た場合極く少数であり、住民の大多数が公民館活動の圏外にあつて、素知らぬ顔をして居る。この姿——全国大会に出席できないで、繁知の顔をしていなければならぬ職員のこと姿——われらが大会にわれらが出席できない状態は何で人呼びかけられようか。すでに計画は着々進められ、大会は目前に迫つて居る。今回ばかりはむを得ぬとしても、次回からはもつと職員の実体を見ての計画を立てられんことを敢えて進言したい。特に本県は、全公連の主動権を保持している位なるが故に、切にお願いするものである。

長寛遺墨遺跡集 新潟県教育委員会では、良寛二百周年記念出版として、新潟県文化財「良寛遺墨集」を刊行した。部数は限定されているが、特に一般の希望に応じ若干は複製分けることになっている。希望の方は、至急、県社会教育課へ申込ませたい。



公民館

＝ 畑野村松ヶ崎の巻 ＝

青年学級の写真クラブの仲間です。もう大集も出来あがつております。このスライドで、同村の河内部落にある二つの訪問集會が、おもしろく編集されておりましたので、私はこの程の部落を訪問してみます。

凸凹アルバム 凸凹アルバムを作っている又ガミフオトクラブのなかま



河内部落にある訪問集會 中央男性は筆者

新潟て三十一年度最後の

新生活運動指導者研究協議会

三十二年度の共通課題を申し合せ、実践報告の持ち寄りを約す

三月二十五日、二十六、二十七の三日間、新潟市県職員研修所...

第一日目は、新生活運動の基本...

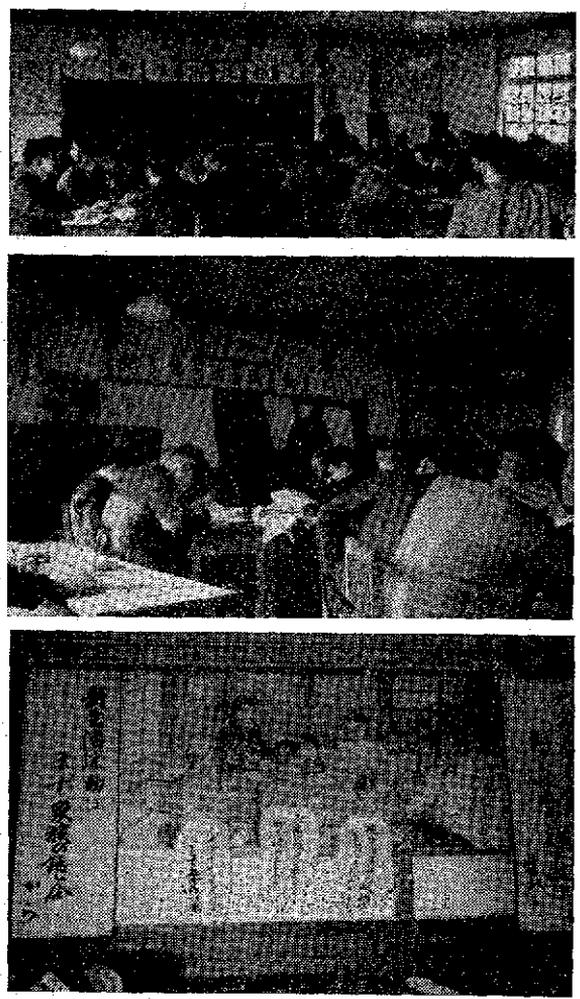


写真 ①この協議会のすめ方について計画説明...

- ④ 訪問集会 の検討
第三日は報告と全体討議の後、共通の課題として次の研究と実践を約し、盛会趣に予定通り全日程を終った。

自ら学ぶ 青年学級の運営討議

十日町市 中魚沼郡 社教振興会

中魚沼で青年学級が開設されたのは昭和二十三年ころからであるが、その後振興法ができてはつきり位置づけられ、働く青年男女の研修の場としての面々盛んになって来た。

勢の青年を集めるために「お好み番組」というべきレクリエーション、生花などの時間が非常に多い点が目立ち、しかもそれだけに出席する学級生が相当多い事が問題となった。

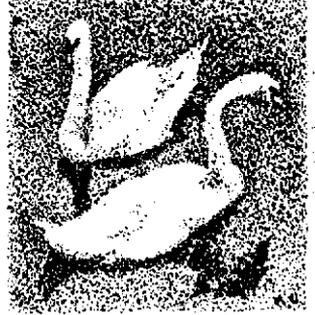
○自主型への欲求
この日集ったのは公民館主事、青年学級主事に学級生も加えた約三十人。そして運営の悩みを出し合ったところ、「どうして青年達のほんとうの願いと希望をひっぱり出して、これを学習活動に組織化して行かへか」という事だった。

○常に「学級生の後」に居るとして、開設者である公民館の運営に対する態度は常に「学級生の後」に居ることが望ましいというところに結論づけられた。



(十日町新聞より)

随想



農村女性はなぜ

農家の嫁を嫌うか

小須戸小向 青木 進

二月十五日、小倉公民館で、県合青年団主催の幹部講習会が開かれた。その時「農村女性をなぜ農家の嫁にする事を嫌うのか」というテーマを聞き、我れも種々な点で考えさせられた。その中言っている主な四つの点を挙げてみる。

第一、男性の小樽。第二、経営の民主化。第三、家庭の民主化。第四、女性の小樽一と、みんなもつとも事はかり言っている。

そこで、私はもう一度自分の周囲を省みて、この問題を考えてみる。

第一の男性の小樽については、今までの自分は本当に相手(女性の)立場になって物事を考え、本当に妻の味方になってやるだけの勇氣と自信があったかという事に対しでは、確に積極的な所があった。この点はずっとしっかりした考えを持たなければならぬ事を痛感した。第二の経営の民主化という

の問題として考えるなら、おのずから農家の嫁になるというところに一つの楽しみも出てくるだろうし、張合いも出てくると思う。第三、家庭の民主化という事であるが、今までの農家の嫁といえは、姑、小姑、親せき等のあらゆる人圧迫されているのが農家の嫁というようにいわれたが、確に大小の差はあれ、われわれの周囲にこそ、いろいろとあったことは認めなければならぬ。

しかし、このことをすぐに農家の封建性云々という前に、今までの農村女性がしつかりした自主性をもっていなかっただけという事を先ず問題にしなければならぬ。

自分の一生を定める経験に自分の考えをはっきりいわず、親が定めれば大半の女は嫁いで行ったというのがこれまでの女性の嫁であった。

こうした経営方針を見て来た我々若い者が、不満と疑問を持つのは当然だと思つて。そこで自分自身が農家経営のあり方については、機械的に使われていっている過ぎず、ましてや嫁の立場といえは、いっそうみじめであった。

こうして経営方針を見て来た我々若い者が、不満と疑問を持つのは当然だと思つて。そこで自分自身が農家経営のあり方については、機械的に使われていっている過ぎず、ましてや嫁の立場といえは、いっそうみじめであった。

男性の方では慣習になることも多くなるだろう。

結局、農家の女性がかつと農家の嫁の座という問題を自分自身の問題としてよく考えるようになれば、

自分自身が農家の嫁になるという確かな信念を持つて嫁いで行くなら現在に横たわる因果や封建性、重労働の問題等については、必ず解決できると私は思う。最後の女性の小樽一については、今までの女性が嫁の座に坐すると、農村の嫁とはこんなものだ、こういう重労働するのが当たり前だ、というふうな完全なあきらめめのかんねを持つてしまったと思われ

自分の妻がそういう消極的なとなれば、悪いとわかつていても、

牛がはねるっぺ

塩沢農協婦人部体験発表会から
南魚沼郡普及所 中島 静 司

「おら子供が六人あるっぺ。学校で要る錢だけでも大したもんだ。百圓の錢の入るがな、カイトと米のとだけだっぺ。それでおら家の人に頼んで乳牛を買つてもうた」

四十才程のオッサンの話の一端である。牛の取扱い方を覚えないうちに、牛がお産してしまつて産たごころなど、手ぶら身が願を真赤にしながら、とてつとて「おらどう言つてええやら」などと困りながら、方言まじりの話ぶ。

サリリーマンの真像だつたら、一番きれいなことと思われる三十才位の農家の嫁さんは、子供を隣りに坐している人にあずけて、「ワンドンヤソメン」と言ひ、シャンプーの代用品にしたり、洗濯に使つと、とつとも長い。私のような貧乏者は、シャンプー代や石けん代でも節約しなければ、子供に鉛玉でも買つてやらんわっぺ。それから熱い汁を庭の小さい草化財企画施設、青少年成人、視聴

ば、おのすからさつて、経営の問らぬよりをしているのに、私が呼んでから歸んで来た時のうれしき、始めの乳しほりに、

「牛がはねるっぺ。そしたら、牛乳がこぼれたっぺ」と、苦心談の表の一駒である。

以上は塩沢農協婦人部の体験発表。とかく、一部の発表マニヤか、と言つくと、

「オマエズンズ」の独壇場になりがちなのに、振舞では、本当に人の前で話など持たごの無いらしい人が、原稿も持たずに自分の体験を發表していた。

發表した人も集つた人も、結婚する前には「できたら動人」と一緒に「と夢みた事もあつたらう。百姓がいやで家出した人も、また女報やひこ」が入選、他は残念ながら入選は今回が初めてである。

館報やひこ入選

果文費広報課からの連絡によると本県代表として全国コンクールに参加した高田市、名立町、彌彦村の公民館は町村部第一類に「館報やひこ」が入選、他は残念ながら入選は今回が初めてである。



後記

覚の四傑となりました。そして公民館は企画施設係の処置になります。係長は増井主事です。生みの親が帰ってきた。係員は田中、木村、根谷、内山の四名、相も交らず、皆体になつてもらいたいものです。

様の御協力、御援助をお願ひ致します。その他の係のご

は次号で御紹介致します。

☆なお教育庁自身も機構改革があつて庶務課は総務課に、指導課、学事課は学校教育課になりました。そして人員数の関係から部課制が変更になり、社会教育課は旧

☆今回から西浦若菜村公民館の屋敷敷一主事から連動簿「公ち」民ごを執筆して頂くことと致しました。なお、これに劣らない原稿を真をお寄せ下さるようお願い致します。

(甲)